

令和8年度

第3回 京都市桃陽病院の今後の在り方に関する検討会 資料編 〈収支計画（概算費用の算出）について〉

令和8年6月18日（木）

1. 収支計画（概算費用の算出）の前提条件

（1）収支計画は看護師数をもとに算出（固定事項）

- 現在、**桃陽病院の看護師は16.5人**（常勤換算）で、入院患者9.5人/日（令和7年度実績）に対応しています。
- なお、第1回、2回の検討会においても「**病床の適正化**」については言及されており、100床～60床の整備等は整備費用も大きく、現実的ではないと考えられます。
- **看護師の必要人数と病床数の計算は、以下のとおりです。**

【入院患者数1日40人の場合】

- ①医療法等における15対1の計算式は、24時間体制（3倍）を考慮するため、1日あたりに必要な配置数は以下の式で算出。
 $1日平均患者数40人 \div 15 \times 3 = 7.9999... \approx 8人$
- ②様式9号では、この1日平均配置数を維持するために、1か月（30日と仮定）で合計何時間の労働時間が必要かを算出。
 $1日必要な配置数(8.0人) \times 30日 \times 8時間 = 1,920時間$
- ③勤務条件（1日8時間、月20日勤務）の場合、常勤1人あたりの月間労働時間は160時間。これを基に、必要な看護師数（常勤換算数）を逆算。
 $月間必要総労働時間(1,920時間) \div 常勤1人の月間労働時間(160時間) = 12.0人$
- ④12.0人は最低必要な看護師数であり、管理業務や研修、外来対応、有給取得等の看護勤務の実情に応じた人数は、以下のとおり。
 $12.0人 \times 1.3 \sim 1.5倍の人数を確保 = 15.6人 \sim 18人$

- 看護師の配置転換は前提とせず、**医療安全及び職員の労働安全衛生の確保を優先条件**とした。そのうえで、看護師16.5人で対応可能な40床を収支計画（概算費用算出）の基準とした。
- さらに、**患者数（令和7年度平均9.5人/日）が仮に2倍**となるケースを想定し、20床規模での検証も併せて実施する。

2. 整備（概算）費用の算出条件

（1）新築（敷地内建替え）の場合

- 新築における新病院整備に関する主な費用（イニシャルコスト）は、以下のとおりです。

新築			算出根拠
病床数	40床	20床	
建設費用	3,520,000千円	1,760,000千円	<ul style="list-style-type: none"> 1床あたり70～80㎡で整備されることが一般的（試算は80㎡で実施） ㎡単価1,100千円を想定
設計費用	176,000千円	88,000千円	<ul style="list-style-type: none"> 建設費用の5%を想定
現病院の解体費用	137,130千円	137,130千円	<ul style="list-style-type: none"> 解体面積は4,571㎡（現病院面積）と解体費用は㎡単価30千円を想定
医療機器整備費用 什器・備品 医療情報システム	214,000千円	182,000千円	<ul style="list-style-type: none"> 他事例を踏まえ、一般的な価格設定
各種事務費用	76,663千円	39,703千円	<ul style="list-style-type: none"> 建設費用、設計費用、現病院の解体費用の合計値の2%を想定
合計	4,123,793千円	2,206,833千円	—
備考	<ul style="list-style-type: none"> 基本構想や基本計画、新病院整備に関する準備費用は上記に含まれていません。 各費用については、他事例を参考に算出しておりますが、現在の物価高騰を踏まえると、さらに増加する見込みがございます。 		

2. 整備（概算）費用の算出条件

（2）改修の場合

- 個室確保や男女別のゾーニング等の運用改善を踏まえた改修（20床を想定）を実施した場合の改修費用は、以下のとおりです。

改修		算出根拠
病床数	20床を想定	
改修費用	2,207,793千円	<ul style="list-style-type: none">改修面積は4,571㎡（現病院面積）改修費用は㎡単価483千円を想定（第2回検討会資料より）
設計費用	110,390千円	<ul style="list-style-type: none">改修費用の5%を想定
医療機器整備費用 什器・備品 医療情報システム	182,000千円	<ul style="list-style-type: none">他事例を踏まえ、一般的な価格設定
各種事務費用	46,364千円	<ul style="list-style-type: none">改修費用、設計費用の合計値の2%を想定
合計	2,546,546千円	—
備考	<ul style="list-style-type: none">基本構想や基本計画、新病院整備に関する準備費用は上記に含まれていません。各費用については、他事例を参考に算出しておりますが、現在の物価高騰を踏まえると、さらに増加する見込みがございます。	

3. 収支計画の算出条件

(1) 条件の設定

- 各項目や金額の設定は、以下のとおりで収支計画を作成しています。

	項目	備考
収益	医業収益	
	入院収益	・ 令和6年度平均入院診療単価（21千円）×延べ患者数
	外来収益	・ 令和6年度実績で固定
	その他収益	・ 令和6年度実績で固定
	医業外収益	・ 令和6年度実績で固定
費用	営業費用	
	人件費	・ 令和6年度実績で固定（人員の配置転換を行わない）
	材料費	・ 令和6年度材料費額より患者数に応じて増減
	教育研究費	・ 令和6年度実績で固定
	経費	・ 令和6年度経費額より患者数に応じて増減
	負担金補助及び交付金	・ 令和6年度実績で固定
	新病院整備に関する増加分	
	減価償却	・ 定額法、一般的な法定耐用年数（建物39年、設備15年、医療機器6年等）を採用 ・ 建設費用や改修費用のうち、60%を建物、40%を設備と仮定し試算
	償還金額	・ 建設や改修に係る費用を全て公費で負担（金融機関等から融資を受けない）を想定し償還金額を0円と設定
	償還利息	・ 建設や改修に係る費用を全て公費で負担（金融機関等から融資を受けない）を想定し償還利息を0円と設定
	医業外費用	・ 令和6年度実績で固定

■ 収支計画については、超概算で作成しており、診療報酬改定や人件費の上昇、物価変動を加味していません。

4. 収支計画について（新築の場合）

（1）40床で整備 1日40名入院（病床利用率100%）の場合

- 1日の入院患者数が40名（令和7年度の約4倍）の場合でも、年間約2.1億円、30年間で約64.4億円の公金投入が予想されます。

区 分	1期 (開院)	2期	3期	4期	5期	30期合計
【医業収益】						
① 入院収益 40床	312,209	312,209	312,209	312,209	312,209	9,366,280
入院 312,209千円/月(R6実績)	312,209	312,209	312,209	312,209	312,209	9,366,280
② 外来収益	12,778	12,778	12,778	12,778	12,778	383,348
外来 12,778千円/月(R6実績)	12,778	12,778	12,778	12,778	12,778	383,348
③ その他収益	861	861	861	861	861	25,821
その他 861千円/月(R6実績)	861	861	861	861	861	25,821
④ 医業外収益 701千円/月(R6実績)	701	701	701	701	701	21,042
収入合計 ①+②+③+④=(A)	326,550	326,550	326,550	326,550	326,550	9,796,491
【医業費用】						
⑤ 営業費用	541,269	541,269	541,269	541,269	541,269	16,238,059
人件費 291,173千円/月(R6実績・固定)	291,173	291,173	291,173	291,173	291,173	8,735,201
材料費 58,938千円/月(R6実績・患者数に応じて変動)	58,938	58,938	58,938	58,938	58,938	1,768,140
教育研究費 284千円/月(R6実績・固定)	284	284	284	284	284	8,533
経費 190,409千円/月(R6実績・患者数に応じて変動)	190,409	190,409	190,409	190,409	190,409	5,712,265
負担金補助金及び交付金 464千円/月(R6実績・固定)	464	464	464	464	464	13,920
⑥ 新病院整備に関する増加分	138,876	138,876	138,876	138,876	138,876	2,724,686
減価償却	138,876	138,876	138,876	138,876	138,876	2,724,686
償還元金	0	0	0	0	0	0
償還利息	0	0	0	0	0	0
⑦ 医業外費用 0千円/月(R6実績)	0	0	0	0	0	0
支出合計 ⑤+⑥+⑦=(B)	680,145	680,145	680,145	680,145	680,145	18,962,745
医業損益(①+②+③)-(⑤+⑥)	△ 354,296	△ 354,296	△ 354,296	△ 354,296	△ 354,296	△ 9,187,296
経常利益(A)-(B)	△ 353,595	△ 353,595	△ 353,595	△ 353,595	△ 353,595	△ 9,166,254
公的資金投入額=経常利益+減価償却費	△ 214,719	△ 214,719	△ 214,719	△ 214,719	△ 214,719	△ 6,441,568

■ 収支計画については、超概算で作成しており、診療報酬改定や人件費の上昇、物価変動、現病院の各種費用（減価償却や償還等）等は加味していません。

4. 収支計画について（新築の場合）

（2）40床で整備 1日20名入院（病床利用率50%）の場合

- 1日の入院患者数が20名（令和7年度の約2倍）の場合、年間約2.5億円、30年間で約73.8億円の公金投入が予想されます。

区 分	1期 (開院)	2期	3期	4期	5期	30期合計
【医業収益】						
① 入院収益 40床	156,105	156,105	156,105	156,105	156,105	4,683,140
入院 156,105 千円/月(R6実績)	156,105	156,105	156,105	156,105	156,105	4,683,140
② 外来収益	12,778	12,778	12,778	12,778	12,778	383,348
外来 12,778 千円/月(R6実績)	12,778	12,778	12,778	12,778	12,778	383,348
③ その他収益	861	861	861	861	861	25,821
その他 861 千円/月(R6実績)	861	861	861	861	861	25,821
④ 医業外収益 701 千円/月(R6実績)	701	701	701	701	701	21,042
収入合計 ①+②+③+④=(A)	170,445	170,445	170,445	170,445	170,445	5,113,351
【医業費用】						
⑤ 営業費用	416,595	416,595	416,595	416,595	416,595	12,497,856
人件費 291,173 千円/月(R6実績・固定)	291,173	291,173	291,173	291,173	291,173	8,735,201
材料費 29,469 千円/月(R6実績・患者数に応じて変動)	29,469	29,469	29,469	29,469	29,469	884,070
教育研究費 284 千円/月(R6実績・固定)	284	284	284	284	284	8,533
経費 95,204 千円/月(R6実績・患者数に応じて変動)	95,204	95,204	95,204	95,204	95,204	2,856,133
負担金補助金及び交付金 464 千円/月(R6実績・固定)	464	464	464	464	464	13,920
⑥ 新病院整備に関する増加分	138,876	138,876	138,876	138,876	138,876	2,724,686
減価償却	138,876	138,876	138,876	138,876	138,876	2,724,686
償還元金	0	0	0	0	0	0
償還利息	0	0	0	0	0	0
⑦ 医業外費用 0 千円/月(R6実績)	0	0	0	0	0	0
支出合計 ⑤+⑥+⑦=(B)	555,471	555,471	555,471	555,471	555,471	15,222,542
医業損益(①+②+③)-(⑤+⑥)	△ 385,728	△ 385,728	△ 385,728	△ 385,728	△ 385,728	△ 10,130,233
経常利益(A)-(B)	△ 385,026	△ 385,026	△ 385,026	△ 385,026	△ 385,026	△ 10,109,191
公的資金投入額=経常利益+減価償却費	△ 246,150	△ 246,150	△ 246,150	△ 246,150	△ 246,150	△ 7,384,505

■ 収支計画については、超概算で作成しており、診療報酬改定や人件費の上昇、物価変動、現病院の各種費用（減価償却や償還等）等は加味していません。

4. 収支計画について（新築の場合）

（3）40床で整備 1日10名入院（病床利用率25%）の場合

- 1日の入院患者数が10名（令和7年度と同等数）の場合、年間約2.6億円、30年間で約78.6億円の公金投入が予想されます。

区 分	1期 (開院)	2期	3期	4期	5期	30期合計
【医業収益】						
① 入院収益 40床	78,052	78,052	78,052	78,052	78,052	2,341,570
入院 78,052千円/月(R6実績)	78,052	78,052	78,052	78,052	78,052	2,341,570
② 外来収益	12,778	12,778	12,778	12,778	12,778	383,348
外来 12,778千円/月(R6実績)	12,778	12,778	12,778	12,778	12,778	383,348
③ その他収益	861	861	861	861	861	25,821
その他 861千円/月(R6実績)	861	861	861	861	861	25,821
④ 医業外収益 701千円/月(R6実績)	701	701	701	701	701	21,042
収入合計 ①+②+③+④=(A)	92,393	92,393	92,393	92,393	92,393	2,771,781
【医業費用】						
⑤ 営業費用	354,258	354,258	354,258	354,258	354,258	10,627,755
人件費 291,173千円/月(R6実績・固定)	291,173	291,173	291,173	291,173	291,173	8,735,201
材料費 14,735千円/月(R6実績・患者数に応じて変動)	14,735	14,735	14,735	14,735	14,735	442,035
教育研究費 284千円/月(R6実績・固定)	284	284	284	284	284	8,533
経費 47,602千円/月(R6実績・患者数に応じて変動)	47,602	47,602	47,602	47,602	47,602	1,428,066
負担金補助金及び交付金 464千円/月(R6実績・固定)	464	464	464	464	464	13,920
⑥ 新病院整備に関する増加分	138,876	138,876	138,876	138,876	138,876	2,724,686
減価償却	138,876	138,876	138,876	138,876	138,876	2,724,686
償還元金	0	0	0	0	0	0
償還利息	0	0	0	0	0	0
⑦ 医業外費用 0千円/月(R6実績)	0	0	0	0	0	0
支出合計 ⑤+⑥+⑦=(B)	493,134	493,134	493,134	493,134	493,134	13,352,441
医業損益(①+②+③)-(⑤+⑥)	△ 401,443	△ 401,443	△ 401,443	△ 401,443	△ 401,443	△ 10,601,701
経常利益(A)-(B)	△ 400,742	△ 400,742	△ 400,742	△ 400,742	△ 400,742	△ 10,580,659
公的資金投入額=経常利益+減価償却費	△ 261,866	△ 261,866	△ 261,866	△ 261,866	△ 261,866	△ 7,855,973

■ 収支計画については、超概算で作成しており、診療報酬改定や人件費の上昇、物価変動、現病院の各種費用（減価償却や償還等）等は加味していません。

4. 収支計画について（新築の場合）

（4）20床で整備 1日20名入院（病床利用率100%）の場合

- 1日の入院患者数が20名（令和7年度の約2倍）の場合でも、年間約2.5億円、30年間で約73.8億円の公金投入が予想されます。

区 分	1期 (開院)	2期	3期	4期	5期	30期合計
【医業収益】						
① 入院収益 20床	156,105	156,105	156,105	156,105	156,105	4,683,140
入院 156,105千円/月(R6実績)	156,105	156,105	156,105	156,105	156,105	4,683,140
② 外来収益	12,778	12,778	12,778	12,778	12,778	383,348
外来 12,778千円/月(R6実績)	12,778	12,778	12,778	12,778	12,778	383,348
③ その他収益	861	861	861	861	861	25,821
その他 861千円/月(R6実績)	861	861	861	861	861	25,821
④ 医業外収益 701千円/月(R6実績)	701	701	701	701	701	21,042
収入合計 ①+②+③+④=(A)	170,445	170,445	170,445	170,445	170,445	5,113,351
【医業費用】						
⑤ 営業費用	416,595	416,595	416,595	416,595	416,595	12,497,856
人件費 291,173千円/月(R6実績・固定)	291,173	291,173	291,173	291,173	291,173	8,735,201
材料費 29,469千円/月(R6実績・患者数に応じて変動)	29,469	29,469	29,469	29,469	29,469	884,070
教育研究費 284千円/月(R6実績・固定)	284	284	284	284	284	8,533
経費 95,204千円/月(R6実績・患者数に応じて変動)	95,204	95,204	95,204	95,204	95,204	2,856,133
負担金補助金及び交付金 464千円/月(R6実績・固定)	464	464	464	464	464	13,920
⑥ 新病院整備に関する増加分	82,393	82,393	82,393	82,393	82,393	1,427,116
減価償却	82,393	82,393	82,393	82,393	82,393	1,427,116
償還元金	0	0	0	0	0	0
償還利息	0	0	0	0	0	0
⑦ 医業外費用 0千円/月(R6実績)	0	0	0	0	0	0
支出合計 ⑤+⑥+⑦=(B)	498,988	498,988	498,988	498,988	498,988	13,924,972
医業損益(①+②+③)-(⑤+⑥)	△ 329,245	△ 329,245	△ 329,245	△ 329,245	△ 329,245	△ 8,832,663
経常利益(A)-(B)	△ 328,543	△ 328,543	△ 328,543	△ 328,543	△ 328,543	△ 8,811,621
公的資金投入額=経常利益+減価償却費	△ 246,150	△ 246,150	△ 246,150	△ 246,150	△ 246,150	△ 7,384,505

■ 収支計画については、超概算で作成しており、診療報酬改定や人件費の上昇、物価変動、現病院の各種費用（減価償却や償還等）等は加味していません。

4. 収支計画について（新築の場合）

（5）20床で整備 1日10名入院（病床利用率50%）の場合

- 1日の入院患者数が10名（令和7年度と同等数）の場合、年間約2.6億円、30年間で約78.6億円の公金投入が予想されます。

区 分	1期 (開院)	2期	3期	4期	5期	30期合計
【医業収益】						
① 入院収益 20床	78,052	78,052	78,052	78,052	78,052	2,341,570
入院 78,052千円/月(R6実績)	78,052	78,052	78,052	78,052	78,052	2,341,570
② 外来収益	12,778	12,778	12,778	12,778	12,778	383,348
外来 12,778千円/月(R6実績)	12,778	12,778	12,778	12,778	12,778	383,348
③ その他収益	861	861	861	861	861	25,821
その他 861千円/月(R6実績)	861	861	861	861	861	25,821
④ 医業外収益 701千円/月(R6実績)	701	701	701	701	701	21,042
収入合計 ①+②+③+④=(A)	92,393	92,393	92,393	92,393	92,393	2,771,781
【医業費用】						
⑤ 営業費用	354,258	354,258	354,258	354,258	354,258	10,627,755
人件費 291,173千円/月(R6実績・固定)	291,173	291,173	291,173	291,173	291,173	8,735,201
材料費 14,735千円/月(R6実績・患者数に応じて変動)	14,735	14,735	14,735	14,735	14,735	442,035
教育研究費 284千円/月(R6実績・固定)	284	284	284	284	284	8,533
経費 47,602千円/月(R6実績・患者数に応じて変動)	47,602	47,602	47,602	47,602	47,602	1,428,066
負担金補助金及び交付金 464千円/月(R6実績・固定)	464	464	464	464	464	13,920
⑥ 新病院整備に関する増加分	82,393	82,393	82,393	82,393	82,393	1,427,116
減価償却	82,393	82,393	82,393	82,393	82,393	1,427,116
償還元金	0	0	0	0	0	0
償還利息	0	0	0	0	0	0
⑦ 医業外費用 0千円/月(R6実績)	0	0	0	0	0	0
支出合計 ⑤+⑥+⑦=(B)	436,651	436,651	436,651	436,651	436,651	12,054,871
医業損益(①+②+③)-(⑤+⑥)	△ 344,960	△ 344,960	△ 344,960	△ 344,960	△ 344,960	△ 9,304,131
経常利益(A)-(B)	△ 344,259	△ 344,259	△ 344,259	△ 344,259	△ 344,259	△ 9,283,089
公的資金投入額=経常利益+減価償却費	△ 261,866	△ 261,866	△ 261,866	△ 261,866	△ 261,866	△ 7,855,973

5. 収支計画について（改修の場合）

（1）20床へ改修 1日20名入院（病床利用率100%）の場合

- 1日の入院患者数が20名（令和7年度の約2倍）の場合でも、年間約2.5億円、30年間で約73.8億円の公金投入が予想されます。

区 分	1期 (開院)	2期	3期	4期	5期	30期合計
【医業収益】						
① 入院収益 20床	156,105	156,105	156,105	156,105	156,105	4,683,140
入院 156,105千円/月(R6実績)	156,105	156,105	156,105	156,105	156,105	4,683,140
② 外来収益	12,778	12,778	12,778	12,778	12,778	383,348
外来 12,778千円/月(R6実績)	12,778	12,778	12,778	12,778	12,778	383,348
③ その他収益	861	861	861	861	861	25,821
その他 861千円/月(R6実績)	861	861	861	861	861	25,821
④ 医業外収益 701千円/月(R6実績)	701	701	701	701	701	21,042
収入合計 ①+②+③+④=(A)	170,445	170,445	170,445	170,445	170,445	5,113,351
【医業費用】						
⑤ 営業費用	416,595	416,595	416,595	416,595	416,595	12,497,856
人件費 291,173千円/月(R6実績・固定)	291,173	291,173	291,173	291,173	291,173	8,735,201
材料費 29,469千円/月(R6実績・患者数に応じて変動)	29,469	29,469	29,469	29,469	29,469	884,070
教育研究費 284千円/月(R6実績・固定)	284	284	284	284	284	8,533
経費 95,204千円/月(R6実績・患者数に応じて変動)	95,204	95,204	95,204	95,204	95,204	2,856,133
負担金補助金及び交付金 464千円/月(R6実績・固定)	464	464	464	464	464	13,920
⑥ 新病院整備に関する増加分	82,393	82,393	82,393	82,393	82,393	1,427,116
減価償却	82,393	82,393	82,393	82,393	82,393	1,427,116
償還元金	0	0	0	0	0	0
償還利息	0	0	0	0	0	0
⑦ 医業外費用 0千円/月(R6実績)	0	0	0	0	0	0
支出合計 ⑤+⑥+⑦=(B)	498,988	498,988	498,988	498,988	498,988	13,924,972
医業損益(①+②+③)-(⑤+⑥)	△ 329,245	△ 329,245	△ 329,245	△ 329,245	△ 329,245	△ 8,832,663
経常利益(A)-(B)	△ 328,543	△ 328,543	△ 328,543	△ 328,543	△ 328,543	△ 8,811,621
公的資金投入額=経常利益+減価償却費	△ 246,150	△ 246,150	△ 246,150	△ 246,150	△ 246,150	△ 7,384,505

■ 収支計画については、超概算で作成しており、診療報酬改定や人件費の上昇、物価変動、現病院の各種費用（減価償却や償還等）等は加味していません。

5. 収支計画について（改修の場合）

（2）20床へ改修 1日10名入院（病床利用率50%）の場合

- 1日の入院患者数が10名（令和7年度と同等数）の場合、年間約2.6億円、30年間で約78.6億円の公金投入が予想されます。

区 分	1期 (開院)	2期	3期	4期	5期	30期合計
【医業収益】						
① 入院収益 20床	78,052	78,052	78,052	78,052	78,052	2,341,570
入院 78,052千円/月(R6実績)	78,052	78,052	78,052	78,052	78,052	2,341,570
② 外来収益	12,778	12,778	12,778	12,778	12,778	383,348
外来 12,778千円/月(R6実績)	12,778	12,778	12,778	12,778	12,778	383,348
③ その他収益	861	861	861	861	861	25,821
その他 861千円/月(R6実績)	861	861	861	861	861	25,821
④ 医業外収益 701千円/月(R6実績)	701	701	701	701	701	21,042
収入合計 ①+②+③+④=(A)	92,393	92,393	92,393	92,393	92,393	2,771,781
【医業費用】						
⑤ 営業費用	354,258	354,258	354,258	354,258	354,258	10,627,755
人件費 291,173千円/月(R6実績・固定)	291,173	291,173	291,173	291,173	291,173	8,735,201
材料費 14,735千円/月(R6実績・患者数に応じて変動)	14,735	14,735	14,735	14,735	14,735	442,035
教育研究費 284千円/月(R6実績・固定)	284	284	284	284	284	8,533
経費 47,602千円/月(R6実績・患者数に応じて変動)	47,602	47,602	47,602	47,602	47,602	1,428,066
負担金補助金及び交付金 464千円/月(R6実績・固定)	464	464	464	464	464	13,920
⑥ 新病院整備に関する増加分	95,619	95,619	95,619	95,619	95,619	1,749,853
減価償却	95,619	95,619	95,619	95,619	95,619	1,749,853
償還元金	0	0	0	0	0	0
償還利息	0	0	0	0	0	0
⑦ 医業外費用 0千円/月(R6実績)	0	0	0	0	0	0
支出合計 ⑤+⑥+⑦=(B)	449,877	449,877	449,877	449,877	449,877	12,377,608
医業損益(①+②+③)-(⑤+⑥)	△ 358,186	△ 358,186	△ 358,186	△ 358,186	△ 358,186	△ 9,626,868
経常利益(A)-(B)	△ 357,485	△ 357,485	△ 357,485	△ 357,485	△ 357,485	△ 9,605,826
公的資金投入額=経常利益+減価償却費	△ 261,866	△ 261,866	△ 261,866	△ 261,866	△ 261,866	△ 7,855,973

■ 収支計画については、超概算で作成しており、診療報酬改定や人件費の上昇、物価変動、現病院の各種費用（減価償却や償還等）等は加味していません。

6. まとめ

- 収支計画（概算費用）の算出根拠は以下のとおりです。
 - 現在、桃陽病院に所属する看護師16.5人の配置転換は行わない。
 - 現在、主に算定している小児入院医療管理料5（患者：看護師＝15対1以上）の基準に基づき、1日あたり約40人の患者の受入れが可能。
 - なお、40人の患者受入れの算出には、医療安全と職員の労働安全衛生を優先し、ゆとりのある看護師配置とした。
 - 新築においては、40床と20床で算出。
 - 改修は、現病院の運用課題（個室の確保や男女別のゾーニング等、患者の利便性を優先した面積の確保等）の改善を踏まえ、20床で算出。
 - 超概算で作成しており、診療報酬改定や人件費の上昇、物価変動、現病院の各種費用（減価償却や償還等）等は加味していない。
 - ただし、土地取得は0円、新病院整備に関する費用（イニシャルコスト）は、京都市が負担（償還金額0円）する想定で試算しているため、それらの費用が発生するとさらに収支は悪化する。
- 新築や改修の区分及び病床数の規模ごとに試算した結果、仮に入院患者数が令和7年度実績の**約2倍にあたる20人/日まで増加した場合**においても、現行水準と同程度となる年間2.5億円規模の公金投入が見込まれます。
- 加えて、物価高騰や人件費の上昇が進行した際には、当該金額がさらに拡大する可能性も否定できません。

- 新築や改修等の整備手法にかかわらず、桃陽病院を医療機関として継続する場合には、毎年**2.5億円の公金投入が必要**となる。
- この公的負担については、市民の理解を得るために、明確な理由等を示す必要がある。